クレオジャパン株式会社
〒170-0013
東京都豊島区東池袋 1-17-8
NBF 池袋シティビル
電話:0800-919-0900
FAX:03-5954-8891

www.creo.com

creo

ドキュメント番号:719-00125A-JA-RevD
発行日:2005 年 6 月 24 日

Technical bulletin

Mac OS X で QuarkXPress 6.5 からファイルを出力し、Prinergy および Prinergy Evo で処理する

このテクニカル情報には、Mac® OS X で QuarkXPress® 6.5 を使用して PostScript® または PDF を出力し、Prinergy® または Prinergy Evo に入力する場合の技術的な情報が掲載されています。QuarkXPress 6.5 の使用をきっかけに Mac OS X をプロダクションの環境として初めて導入された方もいらっしゃると思います。そのようなユーザーの方のために、Mac OS X で問題なく PostScript や PDF を出力するための情報についても説明します。

QuarkXPress 6.5 の新しい仕様

QuarkXPress の以前のバージョンでは、たとえば Creo Colorized TIFF XTension など、サードパーティーの XTension を使用しないとコンポジット ファイルに作成することができないオブジェクトが多数ありました。また、複数のインキを使用するオブジェクトなど、QuarkXPress からコンポジット ファイルに入れることができないオブジェクトもありました。

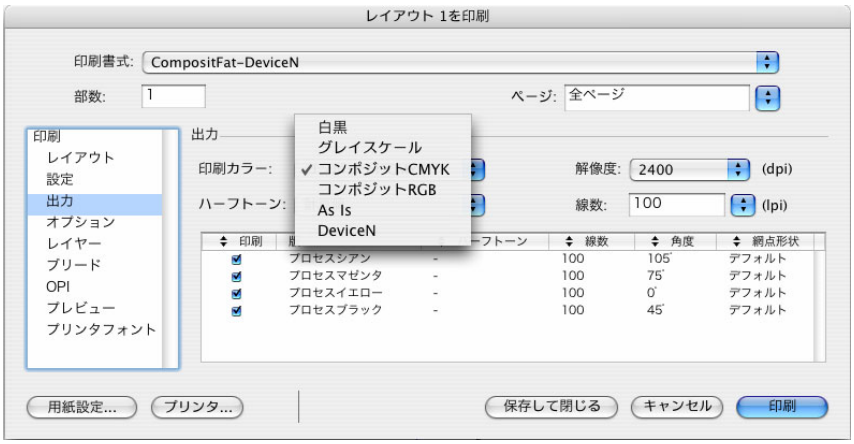
QuarkXPress 6.5 では以下がサポートされます:

- DeviceN カラーがサポートされ、Creo Colorized TIFF XTension を使用せずに、スポット カラーの TIFF を作成することができます。
- コンポジット CMYK および元のカラー定義を保持(As Is)して出力することができます。(「As Is」に設定されたカラーは、コンポジット CMYK や画像を[印刷書式]リストで[As Is]に設定されたカラー スペースの定義で出力されます。)
- Jaws PDF エンジンの搭載により、QuarkXPress から直接 PDF を作成することができます。

QuarkXPress 6.5 の印刷に関する新しい仕様

QuarkXPress 6.5 の[印刷]ダイアログ ボックスは QuarkXPress 5 とほとんど変わりません。QuarkXPress 5 と同様、QuarkXPress 6.5 には OPI XTension が含まれ、OPI に対する[印刷書式]での設定が適用されません。必要に応じてこの機能をオフにしてください。他の機能は QuarkXPress 5 の仕様と変わらないようです。

QuarkXPress 6.5 での出力で最も大きく変わった点は、DeviceN と元のカラー定義を保持(As Is)して出力できるようになった点です。



以下は各出力オプションの相違点簡単な説明です:

- [**コンポジット CMYK**]を選択すると、TIFF 画像が CMYK に変換されます。
- [**コンポジット RGB**]を選択すると、TIFF 画像が RGB に変換されます。
- [**As Is**]を選択すると、元々定義されていたカラー スペースを保持します。
- [**DeviceN**]を選択すると、DeviceN での描画が適切なページには DeviceN が適用されます。このオプションはスポット カラーを含む TIFF や複数のインキを使用する場合に使用できます。Creo では、スポット カラーを含むファイルを出力する場合にこのオプションを選択することをお勧めしています。また、Prinergy および Prinergy Evo で使用する PostScript を作成する際にも、このオプションを使用することをお勧めします。

上記のカラー設定は QuarkXPress 6.5 から PDF をエクスポートする場合にも使用できます。ただし、QuarkXPress 6.5 で直接 PDF ファイルを使用する場合は、構造上の制限により、PostScript ファイルを出力して Prinergy または Prinergy Evo で直接 PDF にリファインする方が良い場合もあります。

Mac OS X で QuarkXPress 6.5 を使用して PostScript ファイルを作成する

Mac OS X では、PostScript および PDF ファイルを直接サポートします。ただし、Mac OS X からの PDF ファイルは圧縮されていない画像や RGB カラー スペースを使用しているため、プリプレスでの使用には適していません。

リファイナ PPD のダウンロード

Creo では、Prinergy Refiner PPD の使用をお勧めしています。PPD は eCentral™ （インターネットで提供する Creo のサポート サイト）からダウンロードできます。PPD ファイルを使用して Prinergy または Prinergy Evo のリファイナでの使用に適した PostScript を作成するには、ご使用のプリンタ ドライバやソフトウェアを設定してください。

以下の手順で Prinergy Refiner PPD をダウンロードしてください：

1. http://www.creo.com/jp ページの［Connections］で［eCentral-Japan］を選択します。
2. 「**セルフサポート**」から「**ダウンロード**」を選択します。
3. 「**Prinergy**」を選択して［**GO**］をクリックします。
4. 「**Prinergy PPD**」を選択してダウンロードし、解凍したファイルを Mac のハード ディスクの「**ライブラリ¥Printers¥PPDs¥Contents¥Resources**」の「**en.lproj**」と「**ja.lproj**」にコピーします。

   注意：Prinergy Evo クライアント ソフトウェアには Prinergy Refiner PPD が含まれています。詳細に関しては、『Prinergy Evo インストール ガイド』を参照してください。

PostScript プリンタを設定する

Prinergy Refiner PPD ファイルをダウンロードしたら、ご使用の Mac にファイルをインストールします。PostScript ファイルを保存するには、［Print］ダイアログ ボックスで PostScript プリンタを選択する必要があります。実際にプリンタを所有していない場合は仮想 PostScript プリンタを追加します。

注意：Prinergy Evo クライアント ソフトウェアをインストールする場合は、Prinergy Evo クライアントのインストレーション イメージに含まれる Prinergy Refiner PPD installation README をお読みください。

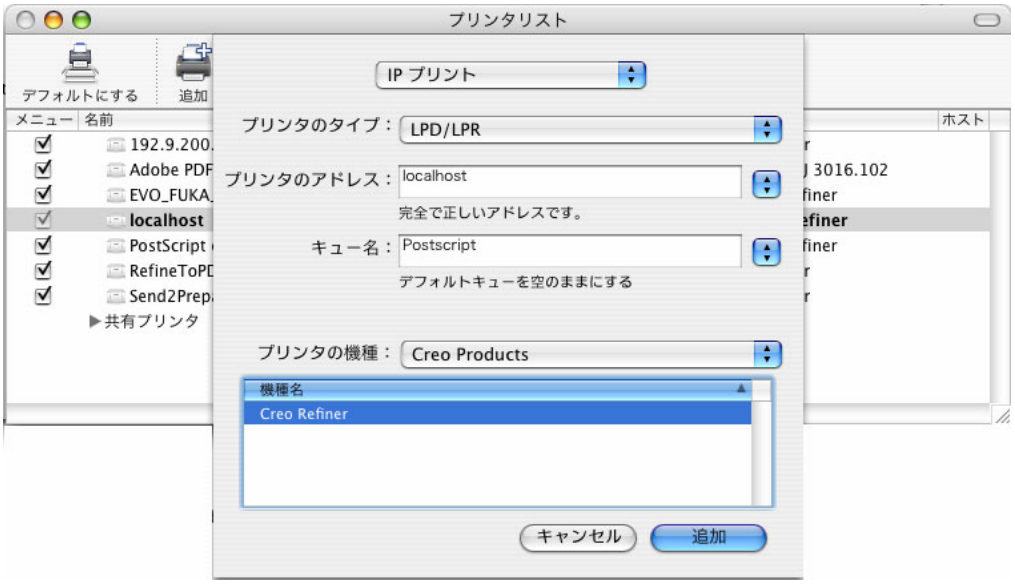
以下の手順で PostScript プリンタをご使用の Mac に追加します：

1. Mac の Printer Setup Utility を起動します（場所：**アプリケーション¥ユーティリティ¥プリンタ設定ユーティリティ**）。

   Printer Setup Utility の起動後に最初に表示されるのは、現在インストールされているプリンタの一覧です。

   注意：Printer Setup Utility は、Mac OS X v10.2 では「Print Setup」という名称です。
2. ［**追加**］をクリックします。
3. リストから［IP プリント］を選択します。［**プリンタのアドレス**］ボックスに「**localhost**」と入力します。
4. ［**デフォルトキューを空のままにする**］をオフにします。

5. たとえば「**PostScript**」のように、新しいプリンタ名を[**キュー名**]に入力します。
6. [プリンタの機種]一覧から[**Creo Products**]を選択します。
7. Prinergy Refiner が[機種名]ウィンドウに表示されます。



[プリンタ リスト]に新しいプリンタ名が表示されます。

8. プリンタ設定ユーティリティを終了します。

これで設定が終わり、元のオーサリング ソフトウェアから出力したジョブの PostScript ファイルを作成することができます。

QuarkXPress の印刷書式の設定

PostScript を安定した品質で作成し、QuarkXPress の[Print]ダイアログ ボックスでの設定時にエラーが発生しないようにするために、[印刷書式]を設定することをお勧めします。

以下の手順で QuarkXPress の印刷書式を設定します:

1. QuarkXPress 6.5 の[**編集**]メニューから[**印刷書式**]を選択します。
2. [**印刷書式**]ダイアログ ボックスで[**Composite Fat DeviceN**]または[**Separated Thin**]形式などの一般的なプリプレス書式を選択します。

   注意: [印刷書式]で OPI を設定できるようにするには、OPI 拡張機能をオフにする必要があります。

QuarkXPress 6.5 で PostScript ファイルを作成する

PostScript ファイルを作成するには、QuarkXPress で「**PostScript on localhost**」という名前のプリンタを選択し、PostScript を保存する際の出力オプションを設定します。

以下の手順で PostScript ファイルを作成します:

1. QuarkXPress 6.5 の[**ファイル**]メニューから[**印刷**]を選択するか、COMMAND+P を押します。
2. [**プリンタ**]をクリックして、Mac OS X の[プリント]ダイアログ ボックスを開きます。
3. [**プリンタ**]リストで、作成した[**PostScript**]プリンタを選択します。
4. リストで[**給紙**]を選択します。
5. [**全体**]リストで[**Normalize**]を選択します。
6. リストで[**プリンタの機能**]を選択します。
7. [**Resolution**]リストで[**2400 dpi**]を選択します。
8. リストで[**出力オプション**]を選択します。
9. [**ファイルとして保存**]チェック ボックスをオンにします。
10. [**フォーマット**]リストで[**PostScript**]を選択します。
11. [**プリセット**]リストで[**別紙で保存**]を選択し、たとえば「**PS 書き出し**」など、Mac OS X のプリント特性のプリセットの名前を入力します。
12. 出力オプションを設定したら、[**保存**]をクリックしてファイルの保存先まで移動します。
13. QuarkXPress の[**プリント**]ダイアログ ボックスで[**名前変更**]を選択し、後で再度使用できるように OS X のプリセットを保存します。

14. [**印刷**]をクリックして PostScript を作成します。作成した PostScript ファイルを Prinergy または Prinergy Evo に送り、リファインします。

注意:Mac OS X および出力に関する詳細については、www.apple.com にアクセスしてください。

Prinergy および Prinergy Evo と QuarkXPress 6.5 に関する現在の問題点

- Prinergy システムのみを起動している場合、DeviceN カラーの PostScript をリファインする際に、Prinergy のノーマライズ機能が「Invalid Restore(復元不可能)」を知らせるエラーを発する場合があります。この問題は 2.1.0.21 またはそれ以降のバージョンで解消されています。この問題は Distiller Assistant の古いバージョンでも発生しました。回避策としては、QuarkXPress 6.5 から PDF として出力するか、または Distiller Assistant の新しいバージョンを使用してあらかじめ Distiller で処理してください。

- QuarkXPress 6.5 で設定したグラデーションではトーン ジャンプが起こりがちです。グラデーションが高品質な諧調を持つ 1 つのオブジェクトとして再現されず、複数のオブジェクトの集合として再現されてしまいます。QuarkXPress 6.5 PDF ファイルをワイヤー フレーム モードで表示して確認してください。この問題は小さなグラデーション、ハイコントラストのグラデーション、または低い線数の場合はそれほど問題になりませんが、広い範囲でわずかずつ変化するグラデーションではトーン ジャンプが起こることがあります。この問題は QuarkXPress 6.5 の今後のアップデートで解消される可能性があります。

- QuarkXPress 6.5 で作成した PDF ファイルにはトリミング ボックスのトリミング情報が含まれません。トリミング ボックスのトリミング情報は、Prinergy Workshop で、または Prinergy や Prinergy Evo では Acrobat 用の Geometry Editor プラグインを使用して、直接入力する必要があります。QuarkXPress 6.5 で作成した PostScript ファイルを Prinergy Evo や Distiller Assistant を使用できる Distiller で処理する場合は、この問題は発生しません。

- OPI で使用するカラーの TIFF では背景の色が失われます。

- QuarkXPress 6.5 で PDF を貼り込んで出力すると、その PDF がプリプレス品質のものである場合はオーバープリントが変更され、トラッピングが失われるため、予期しない結果になることがあります。

Creo について

Creo は、グラフィック アート業界のソリューションにおいて世界をリードする企業です。主要製品は、画像取り込みシステム、インクジェット プルーファー、フィルム、プレート、およびプルーフのサーマル イメージング デバイス、業務用カラーおよびコピードット スキャン システム、ワークフロー マネジメント ソフトウェアなどです。このほか、オンプレス イメージング方式、デジタル印刷機のコンポーネント、高速 POD デジタル印刷機用のカラー サーバーも OEM 供給しています。

© 2005 Creo Inc. 本マニュアルに記載された Creo 製品名は、Creo Inc の商標またはサービス マークであり、該当する司法管轄で登録されている可能性があります。その他の企業、ブランド、製品、サービスの名称は文書作成のみを目的に引用されたもので、当該各社の商標または登録商標になっている可能性があります。データは予告なしに変更されることがあります。